

住吉大社の石燈籠をめぐる

2017年3月25日(土) 10時30分出発[所要時間:約60分] 住吉大社反橋前、絵馬殿付近に集合 10分前までにお集まりください。

募集人数/50名 (参加無料·事前申込要·先着順)

「解説案内]

関西大学文学部 黒田 一充、同研究室の大学院生ほか

「申込方法]

naniwa-osaka@ml.kandai.jp 上記アドレスに、件名を「住吉大社ガイドツアー」とし、 住所、氏名、連絡先を明記の上、お申し込みください。 ご参加いただける方のみ、参加証を送らせていただきます。

主催/関西大学なにわ大阪研究センター協力/住吉大社

大阪市住吉区の住吉大社は古代から海の神、和歌・文学の神として信仰を集めてきました。 とくに江戸時代になり河川や海上の交通が発達して物流が盛んになると、船の安全を祈って石燈籠が寄進されました。現在も住吉大社には 634 基の石燈籠が残っており、その銘文には全国各地の廻船業者やさまざまな業種の仲間の名前が刻まれています。このたび総合調査をもとに作成したイラストマップを使って、境内の石燈籠を見て回るガイドツアーを開催いたします。

みなさまのご参加をお待ちしております。

